

岩手県大槌町と福島県いわき市で復興まちづくり事業の協力協定締結



左から碓川豊町長、上西郁夫UR都市機構理事長

岩手県大槌町

2013年3月1日、UR都市機構は復興整備事業に伴う工事発注支援の相互協力協定を岩手県大槌町と締結しました。1日も早い復興を成し遂げるために、技術者不足による工事発注の遅れが出ないように、町が発注する工事について、発注前段階に関わる工事費精算や関連書類作成、提案審査をUR都市機構が支援。協定は、大槌町安渡・赤浜・吉里吉里・浪板地区の工事発注に関するものです。

工事発注を主な対象とした「発注者支援方式」ははじめての取り組みで、UR都市機構の技術力と中立性が認められ締結に至りました。他の被災自治体の要請があれば、今後も対応を検討する予定です。



左から鈴木徳夫豊間区長、渡辺敬夫いわき市長、小山潤二UR都市機構震災復興推進役、志賀隆一郎薄磯区長

福島県いわき市

2013年2月8日、UR都市機構は福島県いわき市と県内ではじめて復興事業に関する協力協定を締結しました。これにより、豊間地区(56ha、地権者数約570人)・薄磯地区(37ha、地権者数約270人)の復興まちづくりをいわき市と協力して推進していきます。

震災前は両地区とも県内有数の海水浴場があり、両地区の間には「日本の灯台50選」にも選ばれた塩屋崎灯台があるなど観光地としてにぎわいがありました。これから両地区は、海岸線に防災緑地、高台には住宅地などを整備する計画です。UR都市機構は住民と合意形成を図りながら、区画整理事業に関する調査設計や工事発注を担当し、2016年度の工事完了を目指します。

復興への取り組み状況はこちら <http://www.ur-net.go.jp/saigai/>



「UR PRESS」Web版もお楽しみください!

内容充実の「UR PRESS」Webサイト。特集の巻頭インタビューや記事のオリジナル動画なども掲載しています。ぜひサイトもご覧ください。

UR PRESS

検索



<http://www.ur-net.go.jp/publication/web-urpress/>

URのツイッター

UR都市機構のツイッターでは、イベント、キャンペーン、募集情報などをタイムリーに発信しています。ぜひアクセスしてみてください。

http://twitter.com/UR_TOSHIKIKOU



2013
vol.33

CONTENTS

- 1 特集
復興の最前線
- 21 クロスワードパズル&
プレゼント
- 22 URからのお知らせ
岩手県大槌町と福島県いわき市で
復興まちづくり事業の
協力協定締結

表紙は宮城県東松島市の復興支援の現場
(野蒜北部丘陵地区、写真:的野弘路)

季刊「ユーアールプレス」
vol.33 (2013年5月)

発行 独立行政法人都市再生機構
〒231-8315
神奈川県横浜市中央区本町6-50-1
横浜アイランドタワー
Tel. 045-650-0892 / Fax.045-650-0889

編集・制作 I&S BBDO
デザイン ボールドグラフィック
印刷 大日本印刷

編集後記

本号では、UR都市機構が取り組む復興支援のいまをお届けするために、現場の最前線で働く職員を中心に取材しました。昨年12月には宮城県女川町、東松島市の工事現場にブルドーザーなどが入り、復興への槌音が響き始めました。そして今年の8月には、岩手県大槌町に建設中の災害公営住宅70戸がよいよ完成する予定です。これからもUR都市機構は1日も早い復興を目指し、それぞれの現場で全力を挙げて取り組んでまいります。